

2023-24年度R I テーマ  
Create Hope in the World  
世界に希望を生み出そう

R I 会長  
ゴードンR.マッキナリー



## TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会 長	宮本 和彦	会 計	土伏 英晴	管理運営	吉本きよ子
会長エレクト	宇都宮勝博	S A A	三好 静子	会員組織	堀越 賢二
幹 事	宇都宮勝博	副S A A	木村 安伸	奉 仕	久藤 孝仁
副 幹 事	福本 博之	直前会長	板場 英行		

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591  
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651  
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp  
http://www.takehara-rc.com  
例会日／毎週木曜日12：30～13：30  
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 11月30日

次週のプログラム 12月7日

クラブアッセンブリー

誕生祝・各会員各記念日祝  
誕生月該当者会員卓話

【2023年11月 9日 第2788回例会記録】  
【2023年11月12日 第2789回例会記録】

11月9日 第2788回

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- 4つのテスト：板場英行会員
- 会員数：12名
- 出席者：9名      欠席者：2名
- メイク：1名      出席率：83.33%

### 記念日代表者謝辞

11月 宮本和彦会員



### 幹 事 報 告

【幹事 宇都宮勝博】

・11月ロータリーレート 1\$ = 149円

### 会 長 の 時 間



【会長 宮本 和彦】  
皆様こんにちは。11月3日は竹原市制65周年、翌日4日は竹文化振興会広島県支部10周年へ出席しました。11、12日は地区大会、16日はキャリアスタート報告会と、11月は行事への出席

が盛りだくさんです。

2022-23年度にロータリー財団へ一人当たり100\$以上の寄付を達成したということでバナーが届きました。今後ご協力お願い致します。

### 誕生月該当者会員卓話

「パーパス経営」について

会員 宇都宮 勝博



本日は誕生月のお祝いをいただきありがとうございます。明日(10日)で満64歳になります。今の会社の制度では65歳の誕生日までが雇用の上限となりますので、あと1年を残すのみとなりました。

さて今回の卓話は、「パーパス経営」という考え方についてお話をさせていただきます。

現代は社会や環境の変化が激しく不確実性が高まっていますが、このような状態を表すワードとして「VUCA」と言われるワードがあります。この「VUCA」とは状態を表すそれぞれの単語の頭

文字をとったものですが、短時間で社会のニーズや市場の状況が変化する「変動性Voratility」のVと、自然界における気候変動とか今回の新型コロナウイルスとか、あるいはこれまでの政治や国家の制度が崩壊するとかの「不確実性Uncertainty」のU、そして経済がグローバル化したことで諸国の文化や宗教などの違いによって商習慣などが異なる「複雑性Complexity」のC、および因果関係が不明な前例の無い出来事が多発する「曖昧性Ambiguity」のAの4つの頭文字を並べたものです。このような状況の中、以前にもSDGsについてお話をいたしました。SDGsを目指す企業の間では今「パーパス経営」という言葉が盛んに話題となっています。「パーパス」とは、直訳すると目的とか目標という意味になりますが、このような時代において、これまでのような省エネや省資源およびゴミの削減とかいう単純な環境改善活動だけではなく、企業は社会において何のために存在するのか、存在価値は何かを示すものです。社会にとって存在価値の無い企業は不要となりますので、人々の日々の生活や社会活動において、どのように役立つのかを示さなければならないということです。

このパーパス経営とこれまでの経営戦略との違いについてですが、従来の手法では企業における「ミッション（使命）」と「ビジョン（理念）」および「バリュー（行動指針）」との関係を示す図がこちらです。パーパスとは、この図では一番上位にあります。本来は経営の根底となる社会的な存在価値のことであり、これまでの「経営理念」が創業者や経営者の「想い」を表した内部的な表現であったのに対して、「パーパス」は社会の中でなぜこの事業を営むのかという外部の視点で存在価値を表すものになります。

さてここまで企業にとってのパーパス経営についてお話をしてきました。それではなぜ今私がこのようなお話をするのかということですが、実は私たちロータリークラブにとっても、このパーパスを明確にして地域社会の方たちとコミュニケーションを進めることで、ロータリーの意義や目的とそ

の存在価値を認識していただくということがとても大切ではないかと思うからです。



ロータリー活動のパーパスが地域社会から見て明確でないと、その存在価値を問われて、新規の入会者はおろか、クラブの存続さえも厳しくなっていくと思うからです。先日の福本会員の卓話にもありましたが、今のままでは縮小や解散の危機を迎えることになります。タイミングとしては既にラストチャンス之感もありますので、皆さんの議論が進むことを期待しています。本日はありがとうございました。

11月12日 第2789回

2023-24年度国際ロータリー第2710地区地区大会

- 会員数：12名
- 出席者：4名
- 欠席者：3名
- メイク：5名
- 出席率：75%

